



届ける安心 広がる笑顔 生まれる信頼 JAあいら

あいら

▶トピックス…日本一はやい桃を堪能 他



2013

8

August

No.256



*詳しくは15ページに掲載



日本一はよい桃を堪能

J Aあいら隼人地区果樹部会朝日も部会は、露地栽培として日本一はよい桃を味わってもらおうと6月4日、霧島市のAコープ国分店で桃の試食販売会を開き、来店客は旬の味覚を堪能しました。

隼人町の朝日地区は、南向きの立地条件を生かし、露地栽培では日本一早く出荷される桃として有名です。

出荷された桃は、管内の山形屋やAコープなどで初夏の贈り物として人気が高く、喜ばれています。



朝日地区で出荷を待つ桃

荒茶品評会1位に有村さんと西さん



始良・伊佐地区茶業振興会は5月24日、平成25年度始良・伊佐地区荒茶品評会を溝辺町のかごしま中部農業共済組合で開催し、J Aや茶業関係者など約30人が出席しました。

品評会には、一般の部に59点、青年の部に36点が出品されました。

審査は外観、香气、水色、味の順番で審査が行われました。審査の結果、一般の部で有村博志さん(溝辺支部)、青年の部で西友洋さん(牧園支部)が1位に選ばれました。

審査後は、夏季に向けての茶園管理研修も行われました。

その他の成績は次の通り
一般の部 2位(同点数)

今吉耕己(溝辺支部)

末重良規(溝辺支部)

青年の部 2位 西 郁也(牧園支部)

3位 宮園正樹(牧園支部)

地域と共生をめざす

地域との共生をめざすJ Aあいらでは、地域貢献活動計画のプレゼンテーションを5月29日、隼人町のJ Aあいら本所で開きました。

プレゼンテーションには、各統括支店の支店長ら30人が出席しました。

地域貢献活動計画は、管内の12支店が地域の特色を生かし、地域のために何ができるかを考え、地域と共生を図ることを目的としたものです。

支店ごとに行われたプレゼンテーションでは、「存続危機にある高校の活性化を図り、地域ぐるみでイベントに参加」や「ビッグパンプキンの栽培で町を元気にしよう」など、各支店で趣向を凝らし、J Aを身近に感じてもらうようと、さまざまな活動計画を発表しました。樋脇建治組合長は、互いに意見交換することで、J Aならではの地域貢献活動を実施したい」と話していました。



地域貢献活動に向けて行われたプレゼンテーション

地域貢献活動通じ地産地消を提供



保護者や地域住民一体となった清掃活動

地域貢献活動に取り組んでいるJ Aあいら溝辺統括支店は5月19日、溝辺町の竹子小学校の児童や保護者らと清掃活動に参加しました。

清掃活動には、児童をはじめJ A職員21人や保護者など約100人が参加し、校内の花壇整備やゴミ拾い、除草作業などを行いました。

作業後は、竹子産の米や野菜など、地元食材を使用したおにぎりや漬け物をJ A職員が調理し提供しました。特に同町の名産品のお茶を急須で入れて飲むのは初めてという児童もおり、清掃活動で疲れた身体をお茶で癒していました。

同支店の竹下幸治支店長は「清掃活動を通じ、地域と交流を図りながら地産地消につなげることができて良かった。機会があれば、地域と一体となつて色々なことにチャレンジしていきたい」と話していました。

同支店では、管内の他の小学校でも同様の活動を広げていきたいとしています。

「ちゅぐりんスクール 2013」時間割

※この活動はJAバンクアグリ・エコサポート基金を活用しています。

6月22日(土) くもい

1じかため

今日は、4月にまいたスイートコーンの観察に行きました。2ヶ月で大きくなっているのにビックリしました。



どこが、雄穂か雌穂かわかるかな？



↑揺らして受粉を促していきま



中はどうなってるんだらう？

2じかため

次の授業は、ぶどう園です。まだまだ青いぶどうが、たわわに上から下がっていました。



↑青々したぶどうたち。もう少し待たないと、食べられないよ。



ふーん。ぶどうが出てくる前ってこうなってるんだー

3じかため・おはなごちの時間

今日の給食は自分たちで作ります。ホットケーキミックスににんじん、かぼちゃなどお野菜をたくさん入れてあります。スープもとてもおいしかったよ。



野菜を入れたお菓子づくり楽しかったあー

→ヘラを使って、うまく返してね。



まだかなあー。おなかすいたよー



ほっぺが落ちそあー

↑しばらくすると、こんがりきつね色になりました。

4じかため

みんなと力を合わせて団旗づくりです。「かっこいい旗をつくるぞあー」

なにを描こうか悩むなあー



自分たちのオリジナルのすてきな旗ができたあー